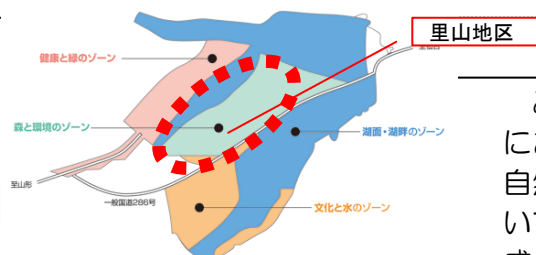




森の楽校だより

VOL. 14



森の楽校とは？

みちのく公園里山地区は、雑木林におおわれた森のエリアです。人と自然のかかわりや、生物多様性について学び体験できる里山として、平成 26 年に開園を予定しています。

市民が身近な自然に親しみ、里山活動に気軽に参加する機会を設けるため、この度、「みちのく森の楽校」を開催します。「森の楽校」では、森に係るさまざまな活動を楽しみながら、これからの里山と人のかかわりを築いていきます。

平成 23 年度は最初の取り組みとして、森の中のコナラの木に、活動の拠点となるツリーハウスを作っています。

2月11日（土）曇り・雪 テッキの床板を張り始めました！

活動開始が10月1日。あれから3ヶ月と10日。ついにファーストデッキの床板を固定し始めました。床板は厚さ4cmのがっしりした板です。支柱も大引きも根太もしっかりと固定しています。

我らが「森の楽校」の拠点が着々とできていきます！



10月1日のホストツリー



床板張り

先週の活動で、デッキの床板を仮置きして感じをつかみました。床板の製材はまだ半分くらいですが、ある分の板を固定することにしました。根太の水平を確認し、高さの微調整をしました。幹の部分は板をくり抜くなど、細かい調整をしながらの作業です。



倉庫

扉に取っ手も付けました。
使いやすくなりました。



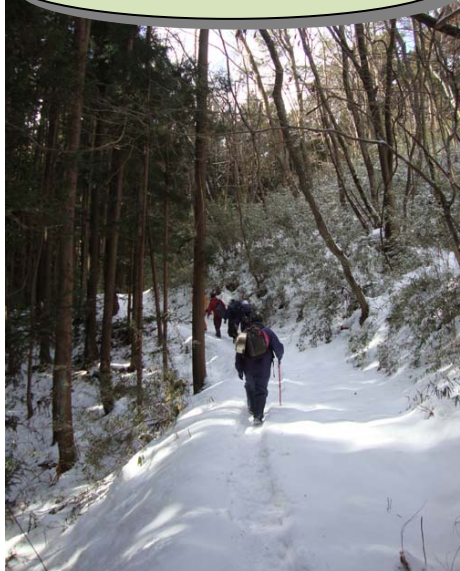
床板の製材

床板の製材はまだまだ続きます。



張った板はデッキの半分くらい

雪路をたどって現場へ



ウサギの足跡



春の気配

